

「脳の機能発達と学習メカニズムの解明」

第2回領域内研究報告会：プログラム

日時：H17年3月8日（火）9：30－19：30

場所：千里ライフサイエンスセンタービル 5階 ライフホール

- 9:30—9:35 開会挨拶 津本研究総括
- 9:35—9:55 神経回路網における損傷後の機能代償機構
伊佐 正（自然科学研究機構 生理学研究所 教授）
- 9:55—10:15 発達期および障害回復期における神経回路の再編成機構
鍋倉淳一（自然科学研究機構 生理学研究所 教授）
- 10:15—10:35 情動発達とその障害発症機構の解明
西条寿夫（富山医科薬科大学大学院医学系研究科 教授）
- 10:35—10:55 臨界期機構の脳内イメージングによる解析と統合的解明
ヘンシュ貴雄（独：理化学研究所 脳科学総合研究センター
グループディレクター）
- 10:55—11:10 <休憩：15分>
- 11:10—11:30 ニューロン新生の分子基盤と精神機能への影響の解明
大隅典子（東北大学大学院医学系研究科 教授）
- 11:30—12:30 高齢脳の学習能力と可塑性の BMI 法による解明
- 11:30—11:45 櫻井芳雄（京都大学大学院文学研究科 教授）
- 11:45—12:00 同期発火の機能的役割：理論的検証
青柳富誌生（京都大学大学院情報学研究科 講師）
- 12:00—12:15 大脳皮質でのグルタミン酸作動性神経終末の成熟：
一過性に発現する小胞性グルタミン酸トランスポーター
金子武嗣（京都大学大学院医学研究科 教授）
- 12:15—12:30 大脳皮質運動野の活動から腕運動を予測するための筋電信号処理方法
小池康晴（東京工業大学精密工学研究所 助教授）
- 12:30—13:30 <休憩：60分>
- 13:30—14:15 言語の脳機能に基づく獲得メカニズムの解明
- 13:30—13:50 知識伝達モデルと文法
櫻井彰人（慶応義塾大学大学院理工学研究科 教授）
- 13:50—14:15 酒井邦嘉（東京大学大学院総合文化研究科 助教授）

14:15-15:15 乳児における発達脳科学研究

14:15-14:45 多賀厳太郎 (東京大学大学院教育学研究科 助教授)

14:45-15:00 新生児・乳児の哺乳時の大脳皮質の活性化—モダリティの発達—

小西行郎 (東京女子医科大学 乳児行動発達学講座 教授)

15:00-15:15 光トポグラフィによる新生児言語機能の計測とその計測技術の開発

牧 敦 (株式会社 日立製作所 基礎研究所 主任研究員)

15:15-15:35 <休憩: 20分>

15:35-16:20 幼児脳の発達過程における学習の性質とその重要性の解明

15:35-15:55 視覚—運動協応の再編と第一次視覚野の可塑性

積山 薫 (公立はこだて未来大学 システム情報科学部 教授)

15:55-16:20 杉田陽一 (独: 産業技術総合研究所 脳神経情報研究部門 研究グループ長)

16:20-17:20 コミュニケーション機能の発達における「身体性」の役割

16:20-16:40 中村克樹 (国立精神・神経センター 神経研究所 モデル動物開発部長)

16:40-17:00 イメージングによる幼児・小児の脳発達の定量評価のための基礎的検討

渡辺丈夫 (独: 科学技術振興機構 CREST 研究員)

17:00-17:20 コミュニケーションの発達基盤—ヒヨコのグルーピング行動の解析から—

中村 俊 (国立精神・神経センター 神経研究所 診断研究部長)

17:20-18:20 小脳による学習機構についての包括的研究

17:20-17:45 平野丈夫 (京都大学大学院理学研究科 教授)

17:45-18:05 小脳における抑制性シナプス可塑性の長期制御機構

川口真也 (京都大学大学院理学研究科 助手)

18:05-18:20 マウスにおける眼球運動制御にかかわる神経細胞活動の in vivo 記録の試み

船曳和雄 (京都大学大学院医学研究科 特任助教授)

18:20-18:30 総評 津本研究総括

18:30-19:30 研究交流会